

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

愛の園保育園

愛の園保育園では、キリスト教主義の認可保育園として培ってきた長年の保育活動を活かし、「子どもたちが神と人ともに愛され、日々喜びをもって過ごすことができる保育」をめざして保育に取り組んでまいりました。

同法人内に、小規模保育事業こひつじ保育園が2015年に新設されて以来、サポート園としての役目も新たに加わり、当初はさまざまな課題がありましたが、よりよい保育のために年毎に見直しや改善を積み重ねて参りました。

今回第2回目の第三者評価を実施していただき、当園の姿勢や取り組みの評価結果に、私たちが保育に対して日々努力する姿勢が反映された事を感じ、大変嬉しく受け止めております。職員各自の努力が報われたという思いと共に、今後の保育に取り組む上で私たちの大きな自信や励みになりました。

今年度は、10年ぶりに改定された保育所保育指針の学びを中心に園内外で積極的に研修を行い、如何にすれば指針に示される内容を、実際の保育現場で実践していくことができるのかを考え、話し合ってきました。次年度以降は今回の結果を職員間で共通理解し、指導計画等の整合性を深めて、より私たちの理想に近づく保育を行っていきたいと願っています。

また第三者評価の準備や書類提出の過程で、園内で多くの発見があり、様々な改善を図ることが出来たことは大変貴重なことでありました。日々慌ただしく保育に追われ、なかなか行うことができなかつた保育の振り返りや総括を行う良い機会となり、そのことを通して職員間の連帯感を高めることができました。

今回頂いた評価結果を基に職員間で研鑽をはかり、子どもたちの最善の利益のために、保護者との連携や自己反省の上に立ったよりよい保育をめざして、一層の努力と改善を図って参ります。

最後に、温かくご指導くださいました評価委員の皆様並びに、熱心に本評価事業のマネジメントをご担当くださった保育課職員の皆様に深く感謝いたします。